

美浜町運動公園整備事業に関する住民説明会記録

日 時	令和2年1月11日（土）13：00～15：00
場 所	奥田公民館（奥田南）
出席者	説明者 齋藤町長、永田副町長、山本教育長、杉本総務部長、石川産業建設部長、八谷厚生部長、天木教育部長 夏目総務課長、宮原都市整備課長 参加者：約94名
内 容	

事業の経緯・概要説明 都市整備課長 15分間 資料による

町長の経過説明 町長20分間

運動公園の問題については、皆様にご心配をかけた。今後についてご理解いただくために説明会を開いた。

選挙のテーマであった「運動公園ストップ」を訴えながら支持をいただき町長に就いている。

就任以降の8か月、職員とともに県、国の意見を聴きながら、日福大の理事者とも意見を交わした。

私が当初から考えていたのは区画整理だった。この地域には以前から区画整理の構想があったがまとまらなかった。今回、運動公園という形でまとまったが、それに異議を唱えて今の立場にいる。支持いただいたことができなかつたことを重く受け止めお詫びする。

色々な条件の中で、区画整理は8.3haではできないことが分かった。民間開発ならできるので大手メーカーに相談した。事業中止に伴う返還金に必要な8億円で土地を購入して宅地開発するとの提案があった。

しかし、事業の中止から住宅開発への転換には長くて6年を要しその間の財政調整基金が枯渇するため行政運営ができない。（総務部長から補足有）

即座に土地の売却ができればよいが、議会の同意も必要で今は難しい。

民間開発も難しい。

一番力になってくれるのは大学であり相談し、大学の大きな構想も聞いた。3種競技場の運営には大学のノウハウ、協力が必要で大学の力を期待している。

もう一つは、公約である事業中止ができないのか12月まで悩んでいた。

町の財政を考慮すると事業を止めることはできないため、議会にもお願いし住民投票は中止した。これがこれまでの経緯。

これからどうするのか、私が首長になって改めてやるべきことは、少子高齢化に対応し、一日も早く小中一貫校を整えること。

総合公園拡張工事の計画がある。この場所は、町の中心で高台にあり安全で、体育館、図書館、グラウンドを活かしてR7年を目標として、一番やるべきこととしている。

もう一つは、産業の活性化（農業、漁業）で、奥田平井の農地を活かすために検討に入った。

観光もそうで、東海テレビ、中日新聞社にも海遊祭の継続をお願いしている。ゴルフ大会も素晴らしかった。美浜町の良いところを活かして活性化することが大きな仕事。

責任を取って辞めたいが、辞めて解決することではない。美浜が一体となってやれる形なれば皆さんへの恩返しができると思っている。

(補足 総務部長)

運動公園事業を中止した場合には、これまでの事業実施による国からの交付金及び借入金約6億円を返還する必要が生じる。返還には町の財政調整基金を充てるが、現時点での残額は5億円で返還額に満たない。返還すると行政運営が立ち行かなくなることを報告し、住民生活への多大なる影響を回避するために町長が苦渋の決断として事業の継続を判断したものの。

質疑応答（・質問 ⇒町回答）

男性1

・コストダウンは当たり前だが、規模縮小はせずそのまま計画どおり進めることを要望する。

防災拠点であり、昨今大雨や川の決壊が心配される中、貯水槽の補助金を返したと聞いたが本当なのか。

⇒運動公園部分の河川改修は県でやってもらえるがその下流の改修もお願いしている。

縮小しないというご要望ですが、担当としては事業の目的達成のために計画どおりの規模を目指したい。

補助金返還については、R1は2億3,400万円の内示に基づいて造成工事を行っている。当初は調整池も施工することになっていたが、今年度事業を見直すことになり調整池にかかる部分の補助金は使えず内示をお返しする状況である。

こうした開発事業には河川保護のために調整池は必要なため、事業が確定したら改めて要望していく。

・河川改修もまだ決まっていないと思うので、まずはやれることを確実に進めてほしい。縮小などせず進めてほしい。

男性2

・今後の在り方で、完成時期はR5、R7どちらか。

⇒運動公園のこれまでの計画ではR5年の完成であったが事業が停滞したため今後の予定は決まっていない。R7年と町長が言ったのは小中一貫校の目標年次である。

・中断した分を挽回していつまでに造るのかはいつ決定するのか。改めての完成時期はどのあたりか。

⇒議会で決めることなので、議会で決まれば即進める。

男性3

・消防団の操法訓練等の防災活動もできるように検討してほしい。

⇒検討しており建物も考えている。

男性4

・県内の他競技場との違いは。また、公園ができてからのこの地区の構想は。

⇒知多市、半田市にもあるが、一番の違いは駅前の立地と大学が隣にあるため、年間利用者を多く見込めること。

もう一つは、交流人口を増やすための誘致に力を入れていくということ。皆さんとの協議の中で進めていきたい。

・主な交流人口のターゲットは大学生ということか。

⇒町外からの誘致は、企業も対象としている。

・具体的なまちづくりの計画は。

⇒大学も大学の発展と大学の発展は一体と言っている。大学と協力してお客を呼ぶ。ビーチランドの拡張も名鉄に提言する。奥田海岸の整備も必要。農地も地主の同意があれば、国の100%補助事業で貸し借りのできる農地整備をしたい。

駅前については、元々区画整理の構想があったが小学校から農免道路までの広いエリアであった。その区画整理構想が運動公園整備に代わってしまったのではなく、まちづくりの一部として、第一段階として交流人口を増やす運動公園整備がある。整備後に人が集まり、店ができるなど活性化し、住宅街の必要性が高まればまちづくりにつながっていく。

男性 5

・この事業に住民や美浜町のニーズは本当にあるのか。身の丈に合っているのか。この説明会は何故やることになったのか。

町長の当選から決断に時間がかかっている。町長と議会がバラバラ。大きな事業を決める前に住民の声を聴いてほしい。ホームページ掲載では足りない。工夫してほしい。住民投票をすること自体知らない人が多かった。整備よりもこれからの維持管理や運営が大切だ。組織を作っていくことも大事。

町長自身の反省点はあるのか。

⇒貴重なご意見として職員ともども取り組んでいきたい。今後については、3種の競技場についてはできる限りいいものを造る。川の左岸側は皆さんの声を聴いていかにコストを下げられるか、町民が憩いの場とすることができるかなどを早急に検討していく。コストを下げられないものについては良いものを造る。

運動公園のニーズについては、駅周辺整備の必要性が地域の要望からも出ている。運動公園になった経緯は、福祉施設等の意見もあったがこれまでの町への要望等でも公園整備の要望が多かった。また、大学のスポーツ科学部の開設、子ども体力づくり、夢と希望の持てるまちづくりというものへの対応でもありニーズはあったと考えている。

身の丈という点では、町税収はさほど変わっていないが厚生費が増加している。10年間で7億増えており教育費、土木費、人件費削減等で対応している。このまま何も手をつけないと活性化が図れないため、一般財源ではなく都市計画税を使った手法で取り組んでおり、身の丈に合っている。

説明会の主旨については、町長の公約から事業継続という政策変更について理解を得るために行ったもの。

事業前の説明が足りないことについて、各地区から同様の声があり反省している。H28の説明会、H30年の町政懇談会で説明したが足りなかった。

整備後の運営については関係団体と組織して検討を継続していく。

・若い人や、女性、勤労者にも配慮した整備をお願いしたい。

男性 6

・これまで、陸上競技場を含む運動公園を造るとは言っていたが、先ほど町長が公認3種の競技場をとの発言を始めて聞いた。それでいいのですね。

⇒これまで3種で進めているので、その面を議会と詰めていきたい。

女性 1

・経済効果の説明があったが机上論であり失敗したときの責任は誰がとるのか。

住民の声を無視して進めてきた前町長とチャレンジミハマの議員に最大の責任がある。

28億から45億に代わった時の説明でも相当の反対があったが、強行してきたことに混乱の原因がある。住民の救世主のように振舞っていることにも憤りを感じる。

その後を継いだ齋藤町長には同情するが、事業反対の声により当選したので何が何でも実行するのが当たり前で、今になって政策を変更することは住民への重大な裏切りでありすぐにやめてほしい。又は住民投票で賛否を取ってほしいと思う。

⇒色々なご意見として聴いておく。

経済効果が実現できない場合の責任については、効果実現のために色々な方や

専門機関に相談しながら地域の活性化に向けて検討していく。

男性 7

- ・運動公園事業の継続を願っている。町長は公約を180度方向転換して継続とし、議会と合意したと新聞に掲載されたが合意の内容は何か。
スペックダウンはどのくらいの規模か。3種競技場は維持してほしい。
⇒すべては議会で決まる。個人としては計画でも2種に近い3種とあり、大会誘致を考えると3種は必要と思っている。議会とも検討していく。

男性 8

- ・魅力を活かして収入を増やす努力はないのか。ベンチャー企業の誘致は。コンパクトシティについても長い期間をかけて進める必要があるのでは。
⇒そのように今後も考えていく。企業庁にもPRしている。

男性 9

- ・議会は、新聞記事にあるような同意はしていない。もう継続は決まったのであるから計画どおり進めるのであればいつでも同意する。チャレンジミハマは進めようとしている。1月中にはっきり決めないと大変だ。
⇒議会での答弁をよく見てほしい。はっきりと議会と話し合いながら前に進めようと言っている。決定はしていないから、議会との検討の中で進めたい。そのままとはしていない。

男性 10

- ・財源の中で一部大学が負担する話はどうか。
⇒計画に当たり、大学と協議する中で維持管理費について応分の負担はすると聞いているが、現時点で町がどのような施設を建設するかが決まっていない。施設が決定した後に、運営や維持管理費の件を決めていくことになる。まずは、町が施設について決める必要がある。

男性 6

- ・造ることになったので、きちんとしたものを造ってほしい。周辺の道路も整備し、5千人規模のハーフマラソン大会を開催してほしい。

男性 11

- ・小中一貫校をR7年度に向けて取り組むとの話があったが、段階が来たらきちんと住民説明会を開いてほしい。
⇒12月議会で議員への説明をしたところ。総合計画審議会においても、公共下水や運動公園のように決定してからではなく早く説明してほしいとの意見があった。学校については必要なものなので、丁寧な説明をしていく。

男性 12

- ・当初25億の事業費が45億になったのはなぜか。
経済効果で利用者が78,000人とのことだが、半田や知多が4万なのに本当か。また、消費額についても9,600万円とは本当か。
防災とのことだが海拔が高くないのにいい加減なことを言っている。
⇒事業費は基本構想の段階で28億円だった。積算は概算であった。その後45億円となったが、各施設（競技場、調整池等）を詳細に検討し関係者の意見も取り入れて積算したところ増加したものの。担当としても多額な増額と思ったが資金計画を確認し返済等が可能であることから、目的達成のために必要な投資と判断した。

78,000人の根拠は、大学・高校の利用5万人を見込んでいることが他市町との違う特色である。消費額は学生ならジュース代の120円としており盛った積算ではない。宿泊費も町内民宿の単価で見込んでいる。現実可能な目標額と考えている。

防災拠点について、津波のハザードマップ上、津波の影響はない区域であり山

王川の樋門が閉まり津波の遡上はないとされている。災害は津波だけではなく火災や台風もあり、被災直後に限らず落ち着いた後の長期間仮設住宅用地の役割もある。

総合公園、日福大も避難地となっているがまた公共用地の避難地は足りていない。総合公園拡張及び運動公園整備は、避難地確保の面でも必要。

女性 2

・自分の家族が陸上競技をしているので事業継続は喜ばしい。子供の練習リスク回避のためにも造ってほしい。公認競技場はお金が儲かると思う。町民が心ひとつにして赤字が出ないように取り組むべきだと思う。大学の陸上部の先生も競技場ができれば協力すると言っている。美浜町が潤う競技場を造ってほしい。

付属高校も生徒が増えている。若い人を逃がさないようにしてほしい。記録会も有料なので収益が出る。競技場のレベルについてもっとわかりやすく説明することで理解を得られると思う。

⇒県内の公認競技場は、14～5 あるが、1種は瑞穂競技場のみで国際大会ができる。収容人数は1万人以上の規模でサブグラウンドも必要。2種は5千人以上の収容が必要で知多市は2種。半田市は現在3種である。

本町の計画は、土地の要件上収容人数は1,000人程度で、トラックなど競技環境は一部2種として、正式な高校生大会もできる仕様としている。

また、4種だと大会ができない。市によっては2種からスタートし利用形態に合わせて4種としている例もある。本町も当初は3種とし、実際の利用に合わせて検討することは将来的に必要と考えている。

男性 6

・運動公園ができないと日福大が移転してしまう懸念もある。日福大が美浜町にあること、学生が居住していることによる税額はどうか。

⇒3,500人の学生が通学し1,200人ほどが町内で暮らしている。生活費でかなりの消費があり、アパートの家主からは固定資産税が入ってきている。

国から交付される地方交付税は年によって違うが住民一人当たり4万から8万円で計算される。1,200人の学生で数千万円の地方交付税が町に入ってきており町内全体への行政運営に使われている。もし大学が無くなれば大変な損失となる。

男性 1 3

・新聞に住民説明会はお詫び行脚と書いてあった。冒頭にきちんと謝罪すべき。人口減少、学校再編はすでに山下町政からの課題であり問題をすり替えようとしている。

男性 1 4

・きちんと謝ったと思う。

スペックダウンは必要と思う。補助金をもらうためには必要最小限の部分はあると思うので、専門家のアドバイスも受けて進めてほしい。

⇒心からお詫び申し上げる。

女性 3

・資料にあるH30の借入金、以前チャレンジミハマから示された数値と異なるがどちらが正しいのか。正しいものを知らせてほしい。

⇒今回の資料は最新の決定数値を示している。H30は今年度に繰越事業であったため、数値が確定したのは最近のこと。チャレンジミハマに提供した数値は当時の見込みであり、奥田地区の主催で9月に行った説明会時に町が示した数値も当時の見込み額だった。今回示した数値が確定額である。

男性 1 5

・地域住民が使える施設（会議室等）も造ってほしい。

大学との話の中で、大学を裏切り者と言ったそうだが気を付けてほしい。

⇒そんなことは言った覚えがない。

運動公園の運営には大学のノウハウが必要と考えている。

男性 1

・今までの体育館とか図書館の建設はどのくらいで、維持費はいくらか。

⇒総合公園は都市公園整備事業として体育館から遊歩道までで約42億円かかっている。国の補助金は7億5千万円、町が35億円負担し借入金の返済もほぼ終わっている。

図書館は、総工費が10億円で国費が1千万。さらい先生の寄付を2億円いただいている。維持費は毎年4千万円程かかっている。